

電気自動車 (EV) の開発を行う GLM が 軽自動車規格の小型 EV を日本市場へ導入開始

電気自動車 (EV) の開発を行う GLM 株式会社 (所在地：京都府京都市) は、この度カーシェアリング向け軽自動車規格 EV 「MiMoS (ミモス)」 の取り扱いを開始致しました。

「MiMoS」は、全長 3m 以下と一般的な軽自動車よりコンパクトなサイズとなっており、日本の道路事情や生活環境に最もフィットした軽自動車規格の EV です。

利便性が非常に高いことから欧州市場を中心に既に広く知られ生活にも取り入れられている超小型サイズの電動モビリティですが、日本ではまだまだ市場への浸透が進んでいません。世界的な電動化シフトの潮流を受け日本市場にも多くの EV が投入され始めていますが、日本で多くのシェアを占める軽自動車サイズの EV はまだ選択肢が非常に少なく、市場のニーズに答えられていないと感じています。そこで、消費者へさらなる選択肢を早急に与えるべきだと考えた弊社では、より早く市場への投入を図るべく海外メーカーにて普通自動車規格で作られた欧州向け車両を、GLM の技術・経験により国内保安基準への適合および軽自動車規格を満たす仕様に改良を加え、軽自動車での登録を実現。今回のスピーディーな日本市場への投入が可能になりました。当車両は主に、シェアリングサービスを検討している各種行政や企業向けに販売及びリースを行う予定です。





【MiMoS】

軽自動車規格 EV「MiMoS」は一般的な軽自動車のサイズよりさらに一回りほど小さい全長 2,999mm 全高 1,555mm 全幅 1,478mm のコンパクト EV でありながら 4 人乗車可能な 4 シーターであり、また 4 人乗車時でも荷物の積載スペースが確保されているため、様々な乗車シーンへの対応が可能な電気自動車です。満充電時の最大航続距離は約 130km あり、短距離及び中距離の移動が主となる 2 次交通向けモビリティとして十分なスペックを持っています。家庭用 200V 充電器での充電ができ、約 6 時間でのフル充電が可能です。

----- 軽自動車規格コンパクト EV「MiMoS」の詳しい情報はこちら -----

<https://glm.jp/products/mimos>



【MiMoS 取扱開始の経緯と狙い】

日本の自動車市場に非常に相性が良く販売台数も多い軽規格の乗用車ですが、実は航続距離の面などから EV との相性も非常に良く、弊社ではかねてより日本市場向け軽 EV の開発に関して議論を進めてまいりました。また議論に際し、世界的に急速に進む電動化の流れに対しまだまだ EV の浸透が十分でない日本市場に対してはスピーディーな市場投入こそが商機を捉えると考え、重要視してまいりました。そこで、開発開始から市場投入へと多くの時間を要する自社開発への足がかりとしてまず、世界の市場に既に投入済みの EV を、弊社の EV に関する豊富な技術と経験で日本の軽自動車企画に適合するよう改良を加え、早期に日本市場導入

すべくプロジェクトを推進、今回の取り扱い開始が実現いたしました。このような手段を取ることで非常にスピーディーな市場投入を実現したことに加え、国内競合車に対しリーズナブルな価格を達成しており、環境対応や交通手段の衰退への解決策としてEV導入を検討している各種行政及び企業向けに新たな選択肢を与えることができると確信しております。



GLM 会社概要

社名	GLM 株式会社	設立	2010年4月1日
代表	代表取締役 宮下 祐一		
業種	自動車製造	連絡先	075-681-5252(代表窓口)



本 社	京都府京都市伏見区竹田向代町 74 番 3
-----	-----------------------

————— 報道各位からの問い合わせ先 —————

GLM(株) マーケティング・広報担当:小林

tel. 075-681-5252 fax.075-681-5222 mail: h.kobayashi@glm.jp

〒612-8418 京都府京都市伏見区竹田向代町 74-3